

## 湧水に係る水循環健全性指標の検討について

### 1. 「湧水の把握件数」について

#### (1) 全国湧水情報収集調査

平成 17 年度に行った全国湧水情報収集調査に引き続き、平成 18 年度も実施しました。(平成 19 年 3 月末現在、1,534 自治体より回答、12,331 箇所)

#### (2) モデル地域における湧水実態調査

湧水復活・保全の具体的な方策・指標検討の基礎データ収集のため、代表的地域 2ヶ所を選定し、調査を実施。

##### ①野川流域における湧水調査（都市地域）

多摩川の支流である野川を対象として、流域内の湧水の湧水量、水質、文献調査、既存調査資料の収集等を行いました。

##### ②富山県全域

富山県内において、自噴井戸の存在位置、湧水量、水質、文献等の調査、既存資料の収集及び湧水・自噴井戸に対するアンケート（対象戸数 11,940 戸のうち 7,006 戸より回答）を行いました。

### 2. 湧水に係る水循環健全性指標の検討

#### (1) 平成 18 年度湧水に係る水循環健全性指標の検討

検討会を設置し、湧水の指標に関し以下の事項について検討を行いました。

##### ①指標の対象とする湧水の定義

自然の湧水、都市部の湧水、湧水機構など地域性の考慮

##### ②めざすべき姿の設定

健全な水循環における湧水の位置づけの明確化

湧水の役割、機能の明確化

##### ③指標の考え方

指標を見る視線として、人の生活から見るか、自然環境から見るか

行政活動段階、施策内容と指標種類の関係明確化

##### ④指標としての扱いやすさ

分かりやすさ、科学的価値、測定のしやすさ 等

#### (2) 平成 19 年度以降の予定

平成 19 年度年度も引き続き検討会を開催し、湧水に係る水循環健全性指標について検討していく予定です。